



ICT・IoT 技術の導入

ベッドにセンサーを設置し、心拍・呼吸数等を測定することで入所者の状態を把握する見守り支援システムや、動画配信サービスを活用した映画鑑賞などを実施。また、給与明細や決裁文書をデータ化することでペーパーレスにも取り組んでいます。



より良いサービスの提供のため、スタッフの待遇改善に積極的に取り組んでいます。「短時間正社員制度」を導入し、それまでは勤務時間が週40時間を境に正社員とパートに分けていましたが、週40時間以下でも時間数に応じて正社員と同等の処遇を受けられる制度を構築。これにより、

職場にも笑顔を
福利厚生 の充実



ココに注目!!



社会福祉法人 鹿屋恵友会「花岡の里」

まちのおしごと

やってみたい
仕事が見つけよう!



VOL. 10

利用者、スタッフ、地域
全てに笑顔を

当法人は平成10年に設立し、花岡町を中心に特別養護老人ホーム「花岡の里」や在宅福祉サービス、高齢者住宅の運営などを行っています。前理事長である私の父が錦江湾を一望できるこの地を気に入り、施設を建設しました。令和2年から「みんなに笑顔を」利用者様に笑顔。スタッフに笑顔。地域に笑顔を」を理念に掲げています。利用者やその家族が笑顔でいることはもちろんですが、働いているスタッフも笑顔でなければ満足なサービスの提供はできません。給与や福利厚生に力を入れ、より良い人材確保のために求人サイトやInstagramでの情報発信を積極的に行っています。また、地域への貢献や還元は社会福祉法人の使命であると考えボランティア活動等のほか、地域の人や困っている人が気軽に訪問・相談で



社会福祉法人 恵友会「花岡の里」

- 住所 鹿屋市花岡町 3979-1
- 電話 0994-46-5050
- 創業 平成10年 ○代表者 林幸香
- 従業員数 107人 (社員・パート等含む)
- 平均年齢 47歳 ○勤務時間 8.0時間
- 採用実績 24人 (令和3年度)
- 福利厚生 各種保険、通勤手当、家族手当、子ども手当、住宅手当、各種特別休暇、資格取得補助等



短い勤務時間の職員にも賞与や各種手当を支給できるようにしました。また、長く無理なく働いてもらうためには休みが必要です。有給休暇の取得率は正社員で80%、パート職員で62%と高水準となっております。更に子どもが病気になった際の病気休暇や、両親の介護休暇を有給とは別途に提供しています。しかし、休暇を取得するにはスタッフの人数が必要で、そのための求人や、最近

では外国人技能実習生も増えていることから、寮を建設するなど人材確保に力を入れています。そのほか資格取得費用の助成といった人材育成にも注力しています。今後もスタッフを大切にしながら、利用者の方々に笑顔にする仕事を行っていきます。



▲現在、古里町に建設中の寮



社会福祉法人 恵友会
林 幸香 理事長

きる場所として花岡に寄合所を、西原に介護相談所を設置し、地域を笑顔にするための仕組み作りにも取り組んでいます。そのほか、若い視点からSNSを使った情報発信や新たな技術を導入するなどして業務改善を行い、若手職員がやりがいを持って働ける職場を目指しながら、シニアスタッフにも活躍できるような環境づくりを推進しています。今後も優秀な人材が活躍できる場所として事業を展開しながら、多様な生活背景・家庭環境の利用者を支え、自立支援を促しながら地域に根差したサービスを提供できるように頑張ります。



みなと食堂



〒891-2321
鹿屋市古江町 7440-3
☎0994-46-3020
店休日 月曜日
営業時間 11:00～14:00

私は以前、鹿屋市漁業協同組合で働いており、その漁協が運営しているのが「みなと食堂」です。港でとれる新鮮なカンパチなどを使ったメニューはとておいしく、スタッフの心遣いも温かいお店です。おすすめメニューは「かんぱち炙り丼」です。外国ではあまり生魚を食べる習慣がありませんが、これは魚をあぶっているため生魚が苦手な人でも食べられますし、慣れれば刺身も食べられるようになると思うので、外国人の人たちにおすすめの一品です。

近場のおすすめスポット

特定技能実習生
グエン・ティ・
ゴック・ジャウ さん
(28歳/入社2年目)

ベトナム出身、平成28年に鹿屋市漁協へ技能実習生として来日し、その後「花岡の里」に入社。特技は東南アジアの伝統武術「ブンチャック・シラット」。



私は特定技能実習生の介護士として、入居者の食事やお風呂、お手洗いなどといった日常生活のお手伝いをしています。一緒に仕事をしている人たちは優しく、分からない日本語があっても周りの人に聞くことができるため、困ったことも相談できるとても良い職場です。大変なこともあります。応援をもらったりチームワークで乗り切ったりと、みんなで助け合いながら仕事ができています。将来は国家資格である介護福祉士の資格を取得したいので、そのための勉強と合わせて日本語や鹿屋島弁の勉強も頑張っています。